

令和3年度 マンション管理士試験解答速報 【11/28 20:30版】

問1	2	問11	1	問21	4	問31	3	問41	4
問2	2	問12	2	問22	4	問32	2	問42	3
問3	1	問13	2	問23	4	問33	1	問43	1
問4	2	問14	1	問24	2	問34	3	問44	2
問5	2	問15	4	問25	2	問35	2	問45	2
問6	2	問16	2	問26	4	問36	4	問46	2
問7	3	問17	4	問27	2	問37	4	問47	2
問8	2	問18	4	問28	2	問38	1	問48	3
問9	1	問19	4	問29	3	問39	3	問49	2
問10	2	問20	3	問30	3	問40	3	問50	2

※後日情報を更新する場合もございます。あらかじめご了承ください。

※この解答速報の著作権はTAC (株)のものであり、無断転載・転用を禁じます。

※TACの予想合格ラインは[12/7\(火\)](#)に発表予定です。あらかじめご了承ください。

TAC マンション管理士講座

令和3年度マンション管理士試験講評

（本試験所感）

全体的な難易度は、昨年度より多少解答しやすい問題が出題されたと思われる。

問題形式では、個数問題が1問減り8問出題され、昨年出題された組合せ問題はなかった。

例年2問出題される会計は1問となり、税が1問出題された。また、標準管理規約複合型が2問出題された。

今年も、全体的に過去問論点をしっかり見ておけば、正解しやすい問題が目立った。

（民法・区分）

出題形式としては、個数問題は区分所有法で2問出題されただけであった。内容的には、民法、区分所有法とも昨年よりは易しかったと思われる。民法は、意思表示、時効、連帯保証、賃貸借で、改正点が出題された。遅延損害金に関する問題も改正点が含まれるもので、施行日に注意を要する問題であった。区分所有法は、条文の正確な知識を要する問題がほとんどであった。標準管理規約との複合問題はなかった。昨年と同様に被災区分所有法と建替え等円滑化法が1問ずつ出題された。

（規約・会計）

標準管理規約は全体として基本的であったが、団地型が1問、複合用途型が2問出題されたことが特徴である。不動産登記法は昨年に引き続き難問であった。また、久しぶりに法人税法が出題されるとともに、会計は貸借対照表1問のみであり、解きにくかったのではなかろうか。

（維持・保全）

設備系法令等は過去問で対応できる問題が多く、昨年度と同等程度の難易度だったと思われる。また、昨年度は個数問題が出題されなかったが今年は1問出題された。重要な過去問をどれだけ正確に覚えられたかで、合否を分けたと思われる。

（適正化法）

個数問題が、昨年同様4問占めていた。昨年と同程度の難易度であったと思われる。

今年も、基本論点を中心に出题されていた。

※この講評の著作権は TAC 株式会社のものであり、無断転載・転用を禁じます。